



**秋田県
ダイナムグループ
「大規模水害に対する
多額義援金の寄付と
災害復旧ボランティア」事業**



株式会社 ダイナム
代表取締役
保坂 明さん

**相次ぐ大規模水害で
困窮する被災住民を
義援金の寄付や
ボランティアで支援**

**全国展開するパチンコホールが
地域に密着した社会貢献を実施**

「観測史上最大」とか、「記録的な」とか、そんな言葉が珍しいものでなくなりつつある自然災害。地球温暖化による気候変動が大きな原因とされているが、日本でも毎年のように集中豪雨や大雨による被害が出ている。国や自治体を中心となるとしても、自然災害に対しては地域住民やそこで事業を営む企業レベルでも日ごろから防災や被災時の復旧の態勢を整えておく必要がある。

東京都荒川区に本社を置く株式会社ダイナムは、1967年に設立され、全国チェーン型パチンコホールとして知られている。同社では、企業活動を通じて地域社会と共生するとともに、地域の一員として積極的な社会貢献活動をしていくことを企業姿勢とし、清掃活動への参加、祭りやイベントなどの運営ボランティア、ホールで扱う景品の社会福祉協議会への寄贈など、全国各地のホールにおいて、それぞれの地域に密着した取り組みを行っている。

そうした活動の柱の一つとなっているのが、災害対応と被災地の復旧・復興支援活動である。物資支援、ボランティア活動、義援金活動を中心に、災害発生直後から迅速な支援を行い、地域に根差した活動を長期にわたって継続している。東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨、西日本豪雨をはじめ、令和になってからも元年の東日本および房総半島台風、2年の7月豪雨、3年の伊豆山土砂災害、4年の8月豪雨などで、被災地への支援を行ってきた。



災害ボランティアに参加したホール従業員



猛暑の中、浸水家財の搬出、災害ゴミの清掃活動などを実施

**ボランティア参加の経験を生かして
大水害に見舞われた秋田県を支援**

2023年7月には、停滞した梅雨前線により、西日本から東北地方にかけて各地で大雨となったが、秋田県では7月14日から記録的な大雨が降り、県内の広い範囲において河川の氾濫などによる床上浸水などの被害が発生した。秋田市、五城目町など8市6町1村で、1人死亡、4人負傷、約6,000棟の住宅が浸水被害を被った。大雨関連の被害額としては、記録が残る1960年以降で、秋田県としては過去最大だという。

秋田県内にホールを展開するダイナムグループでは、平素から児童や生徒の見守り活動や通学路の清掃などのボランティア活動に取り組んでいるが、この大水害からの一日も早い復旧と、被災者の生活再建や地域社会の復興を願い、10月30日に秋田県に対し、4,923,000円の義援金を寄付したほか、家屋の浸水被害が特に集中した秋田市、能代市、2年連続で大規模水害に見舞われた五城目町で、ホール従業員が災害ボランティアに参加した。連日、熱中症アラートが発令される猛暑または土砂降りの雨のいずれかという過酷な状況下で、延べ7日間にわたり、26人のボランティアが、被災世帯に出向き、浸水家財の搬出、災害ゴミの清掃活動、床下の泥出しなどの活動にあたった。

同グループでは、2022年8月に五城目町での災害復旧ボランティアに参加した経験から、被災初期段階における復旧作業の重要性を認識し、時間の経過とともにボランティアが減少する傾向なども踏まえ、今回の大水害では、基幹店を定め、参加者、活動日、活動地域、活動内容等を把握した上でのボランティアを派遣した。いまだ完全な復旧が果たされないなか、多額の義援金の寄付に対して秋田県や被災市町村から感謝が寄せられているほか、復旧作業現場では緑地に白抜きのダイナムのベストをしばしば目にしたことから、地元自治体や被災者からの信頼は厚い。